

脊椎後方固定術を受けられる患者さまへ

月日(日時)	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()~ / ()	/ ()~ / ()
経過(病日等)	入院	手術当日	術後1日~7日	術後8日~12日(転院基準)	術後13日(退院基準)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆入院の必要性を、患者・家族が理解し同意する ◆手術前の準備が整っている ◆退院基準を理解し、同意する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆麻酔・手術に対して不安が最小限である ◆深部静脈血栓症の徴候がない ◆疼痛コントロールができる ◆下肢のしびれや冷感がない ◆感染の兆候がない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆深部静脈血栓症の徴候がない ◆疼痛コントロールができる ◆下肢のしびれや冷感がない ◆感染の兆候がない ◆介助にて日常生活に支障がない 	(転院基準) <ul style="list-style-type: none"> ◆深部静脈血栓症の徴候がない ◆疼痛コントロールができる 	(退院基準) <ul style="list-style-type: none"> ◆深部静脈血栓症の徴候がない ◆疼痛コントロールができる ◆手術前の症状が改善される ◆退院後の訓練ができる
治療・薬剤(点滴・内服)	持参薬の確認をします 疼痛時鎮痛薬(坐薬)を使用します	麻酔科医の指示で内服薬の調整をします 術後500mlの点滴が2本あります 希望時鎮痛薬(注射)を使用します	術後2日目まで朝夕に抗菌薬の点滴があります 希望時鎮痛薬(坐薬・内服)を使用して痛みを和らげます	希望時鎮痛薬(坐薬・内服)を使用して痛みを和らげます	希望時鎮痛薬(坐薬・内服)を使用して痛みを和らげます
処置		傷口に管が入っています 手術室に入室する前に弾性ストッキングを装着します 痛み止めの点滴があります	創部の消毒があります 術後2日目に傷口の管が抜けます 足首の運動ができたなら弾性ストッキングを脱ぎます 創の消毒をいて保護シールを貼ります	保護シールを取ります その後は傷口の観察のみです(消毒は不要です)	抜糸はありません
検査	必要時血液検査・他科受診があります		血液検査があります レントゲン撮影があります		
活動・安静度		手術が終わって3時間はベッド上安静です			退院時評価をします
食事	麻酔医の指示に従います	手術までは飲んだり食べたりできません 帰室3時間後、腹鳴確認後水分を摂取できます その後食事もできます	制限ありません		
清潔	入浴をしていただきます ひげそりをしていただきます		保護シールに変わるとシャワー浴ができます	保護シールが剥がれたら入浴ができます	
排泄	排便の確認をします	手術後尿の管が入っています	尿の管が抜けてトイレでできます		
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受持医が入院診療計画書について説明をいたします 麻酔科医師の診察をいたします 手術室看護師の訪問をいたします 理学療法士が術後の訓練の説明をいたします 薬剤師が薬についての説明をいたします 治療食の場合は栄養士より食事療法について説明をいたします 入院費は3割負担で概ね60万円になります(入院費に関するご心配がありましたらお早めに医療福祉相談室にご相談ください)	術後に主治医が説明をいたします	術後翌日より病棟での訓練が始まります 術後2日目でリハビリ室にて訓練を開始します 歩行訓練を行います		主治医より病状経過の説明をいたします 看護師・理学療法士より退院後の生活について説明をいたします

注1病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2入院期間については現時点で予想される期間です